

議会からの政策提言書

秦野市議会

本市議会では、平成23年に議会基本条例を策定し、議会の活動原則として、第3条第4号において「条例の制定、議案の修正、決議等を通じて政策提案すること」、また、第4条第1号において「市長等に対する質問及び質疑並びに議員相互における自由かつ達な討議等を通じて課題を把握し、その解決のための対策を研究し、並びに市長等に対して積極的に提案すること」と定めています。

さらに、令和4年1月1日から導入した通年会期制によって、常任委員会をより機動的に開催できるようになったことから、各常任委員会において毎月のように、政策提言に向けた調査・研究を行ってきました。

この度、調査・研究の成果をとりまとめましたので、本市発展の一助としていただくよう、次のとおり政策提言を行うものです。

令和5年3月20日

秦野市議会
議長 小 菅 基 司

< 目 次 >

政 策 提 言

総務常任委員会	1 ページ
文教福祉常任委員会	3 ページ
環境都市常任委員会	6 ページ

総務常任委員会

タイトル：防災意識の高揚に向けた提言書

【政策提言で目指すSDGs】



【提言 1】

いつ来てもおかしくない災害に備え、防災意識を高めるため各年齢層、全ジェンダーにマッチした防災情報の提供を行うこと。

防災に対する意識は、大きな災害の発生時点をピークに低下し、自治会に加入している比較的高齢な男性を中心とした方への情報提供方法などが主なものとなっていることが、懸念される。

幅広い年齢層や全てのジェンダーの視点に合った情報提供を行うことで、より防災意識を高めることができ、災害に対する自助・共助を高め災害に強い地域づくりへと繋げることができる。

【提言 2】

地域防災力の向上を図るため、自治会、消防団及び学校と協力した自主防災組織の強化を行うこと。

地域に密着し、即座に対応することができる自主防災組織の果たす役割は、重要である。

また、自主防災組織を強化することは、「自分たちの地域は自分で守る」という意識に基づき、災害時に行政機関の公助が困難の場合、

自助・共助の取組が被災軽減に繋がる。加えて、子どもたちに、防災の重要性を伝えることは、家族で考える防災にも繋げることができる。

さらに、多くの市民が防災の役割を担い協力することは、継続的な運営が可能になり、組織力の向上を図ることができる。

【提言 3】

災害発生時における広域防災拠点や後方支援体制の整備と民間事業者からの応援体制の充実を図ること。

今後の大規模災害の発生が懸念されることから、後方支援体制を整備することは、想定されている被災地の各災害等に関する対応へと繋げることができる。

また、公助を行う自治体が人員を確保できなかった場合、官民連携の充実を図ることで、被災から生活再建等に向けて、迅速かつ効率的に対応することができるため、被災した自治体をバックアップすることができる。

文教福祉常任委員会

タイトル：みんなを「つなぐ」エイジフレンドリーシティに向けて

【政策提言で目指すSDGs】



【課題①：多世代間で交流を深められる環境の整備】への提言

【提言 1】

様々な世代が公平な立場で参加でき、世代間の認識を共有できる場を設けること。

現在のエイジフレンドリーシティ行動計画では、様々な世代からの意見を吸い上げる機能がなく、支援を受ける高齢者世代を中心とした考え方となっている。

このため、世代ごと（若年層、子育て層、壮年層、高齢者層を想定）の課題や意見を発する場を整備し、お互いの課題やニーズを認識しあい、ずれの補正を行える場を整備すべきである。

【提言 2】

世代ごとの課題や意見を踏まえ、相互に交流できる拠点や機会を提供すること。

様々な世代が相互に交流できる拠点や機会を創出することで、学校や子育て支援施設における高齢者層の知識を生かした支援（子どもに対する知識の教示など）や既存イベントにおけるそれぞれのニーズを

補完しあう仕掛け（子どもに向けた様々な体験活動を行う高齢者層に対する子育て層の買物支援など）の充実など、それぞれが抱える課題やニーズをそれぞれの立場で解消できるきっかけとすべきである。

【提言 3】

企業や教育分野の力を借り、世代ごとの課題やニーズの解消に資する体制を整えること。

市内において、全ての人にやさしい（エイジフレンドリーな）取り組みを行う企業を指定・公表し、市民の利便性の充実とともに、企業ブランドの向上を図るべきである。

また、高校生や大学生による他の世代への支援（若年層への学習支援など）や、障がい者や高齢者との交流のほか、福祉体験活動を取り入れた学校教育の取り組みの充実を図るべきである。

加えて、移動支援事業など、既に取り組んでいる事業についても、他の世代とのマッチングや秦野市独自の視点での潜在的なニーズの掘り下げを進めるとともに、新たな視点での事業も検討するなど、持続可能な体制を整えるべきである。

【課題②：執行部の組織間における連携体制の強化】への提言

【提言 1】

執行部内の連携体制を強化するため、定期的に庁内の検討会議を開催することに加え、関連する個別計画との整合を図りエイジフレンドリーシティの要素を取り込んでいくこと。

エイジフレンドリーシティ行動計画は、総合計画2020プランの策定時において行われたワークショップなどの直接の意見交換を土台として組み立てられたのではなく、既存の関連計画において設定された事業を8つの分野ごとに分類し、相互に連携する形をとっている。

加えて、高齢者福祉担当課が主体となって策定された背景があり、他課が所管する分野との連携に課題があると分析した。

これを踏まえ、既存の「秦野市エイジフレンドリーシティ行動計画庁内検討委員会」を進ちよく状況について定例的な調整ができる場として整備し、各部門の進行管理がしやすい体制を整えるとともに、計画の在り方を整理すべきである。

【提言2】

多様化する市民からの相談を交通整理するための執行体制を充実させること。

価値観が多様化する近年では、子育てに関する課題やヤングケアラーの課題など、市民からの相談が多様化しており、現在の縦割りを基本とした執行体制では解決が難しい複合的な相談事例が増えてきている。

このため、複雑化した個々の課題を紐解き、ケアされる側とケアする側双方への最適な支援をマッチングさせることが解決の近道であり、福祉部門においてはその実務を担う地域共生支援センターが設置されたところであるが、既存の行政計画との連携を進めることに加え、各担当課が所管する事務とのマッチング機能の充実についても、今まで以上に配慮すべきである。

環境都市常任委員会

タイトル：地域経済の活性化に向けた切れ目のない観光体験の実現のための政策提言書

【政策提言で目指すSDGs】



【提言1：ICTを活用した観光需要の喚起、分析・共有】

- ◆鉄道やバス、タクシーなどの交通サービスや、観光施設、店舗などに関する検索・予約などの情報をICTの活用によって統合することで需要を呼び起こし、観光体験を切れ目なく促す仕組みを検討すること。
- ◆利用者のビッグデータを分析し、市内観光地における来訪者の来訪目的・交通手段などの動態を把握するとともに、その推移・予測のデータを関係事業者と共有し、今後に向けた効果的な地域事業の創出や商品開発を行えるよう支援を検討すること。

観光地域づくりを通じた地域活性化を図るためには、来訪者が地域に何を求めているかを把握した上で、より来訪者のニーズに合致した取組を実施していくことが重要である。しかし、取り組んでいる事業者等によっては、手間やコストなどの問題により、単独で行うことは困難さを伴い、行動を表すまでに一定程度のサポートが求められる。

そのためには旗振り役が必要であり、その立場となるべき組織として自治体に求められるものも多く、市はそうした意味からも地域経済の活性化に向けて積極的に推し進めていく意思表示をすべきであり、それにはデータに基づいた分析と現場の声を考慮する必要がある。地域経済が自立的に好循環していくネットワークの構築には、近年注目されているMaaS（Mobility as a Service）の実装を通じたICTの活用で観光体験を切れ目なく促す仕組みが有効と考える。

【提言 2：サービス・地域施策の連携】

来訪者にお金を使ってもらえる観光地とするため、交通事業者や商業者など、地域の多様な担い手とともに消費喚起策を協議する場を設け、それぞれにおいてその役割を発揮することができるよう、データを活用、共有しながら伴走・協働でサービスの提供や、地域施策における連携体制を構築し、地域経済の活性化を推進すること。

先の見通せない時代において、急激な環境の変化にも、しなやかに適応し、継続的に地域の価値を高め、稼げる地域としていく必要がある。経済を活性化させ、将来にわたり持続可能なまちづくりができるようにしていくためには、活動の舞台となる地域や、そこに携わる多様な担い手同士が連携していかなければならない。

そのためには、世界で共有された持続可能な開発目標であるSDGsの理念を地域でも共有し、様々な取組につなげ、定着させていけるかが重要な鍵となる。市民や事業者等との間でパートナーシップを築き上げ、サービスの提供や地域政策の手法に関し、より良い意思決定が自発的に取れるよう連携体制を構築すべきである。

また、その協議の場において、データの収集・分析の過程の中で掘り起こしできた地域の優先課題の共有を図ることで、各事業者の事業戦略や市の地域施策としても連携を図ることができ、その効果を最大限に発揮することができると思う。